

令和5年度 校内研究の計画

83

岡山市立 第三藤田小学校
校長名 森垣 真由美

中学校区の研究主題	学校の研究主題
考え、伝え、学び合う子どもの育成をめざして	「わかった」「できた」を実感し、主体的に学びをつないでいく児童の育成 ～充実した話し合いや学びを表現することを通して～

校内研究の研究計画、内容

1. 研究の内容・位置づけ

2. 授業研究について
今年度は、深い学びにつながる話し合い活動のある授業に重点を置いて研究を進めていく。児童が話し合い活動をする中で新たな気付きや問いが生まれ、さらに考えようとする姿や、実感を伴った理解につながっていく姿が見られるように、各学年部での検討や授業公開・反省などを行っていきたい。

3. 学力向上について
○朝学習…単純四則計算(＋・－・×)に継続的に取り組むことで、基礎的な計算能力を高め、自信をもてるようにする。学期末には計算の力試しをする。
○知識の定着を図る工夫…自主学習推奨(おたのしみ自主勉)や、進んで学習に取り組みたいくなるポイントカードの実施等をおこなう。

4. 研究の計画
4月 第一回研究全体会(研究の共通理解事項の確認)
5月 第二回研究全体会(授業づくりについて) 授業者・授業日・教科の決定
5月～1月 授業実践・公開授業(指導案検討・授業公開・研究協議)
5月～3月 ミニ研修・知識が定着する工夫について学期末に情報交換
7月 家庭学習推進週間・朝学習力試し週間実施(年3回:7月 12月 3月)
10月 学び合いの仕方 学びが定着する工夫 中間まとめ
1月 研究のまとめ(成果と課題)と次年度に向けて

上記の取組に関連する教育課題(キーワード) 当てはまるものに○, 複数可

項目	○	項目	○	項目	○
子ども理解	○	カリキュラム・マネジメント		健康教育・食育	
コミュニケーション力	○	教育相談		危機管理・安全指導	
学びに向かう力の育成	○	情報教育(ICTの活用を含む)	○	岡山型一貫教育	
知識・技能の育成	○	特別支援教育		地域協働学校	
思考力・判断力・表現力の育成	○	ESD	○		
主体的・対話的で深い学び	○	キャリア教育			
個別最適・協働的な学び	○	人権教育			
探究学習		福祉教育			

研究対象の教科・領域 当てはまるものに○, 複数可

全教科	国語	社会(地歴公)	算数/数学	理科	生活	音楽	図工/美術	技術・家庭	体育・保健体育	外国語(外国語活動を含む)
○										
道徳	総合的な学習の時間	特別活動								

指定等

年度	指定・主催	規模	教科等	会の名称